

●「主体的に学習に取り組む態度」の評価の枠組み

※「B」：「主体的な学び」が実現した時の生徒の学びの姿

「A」：学習の実現の程度について質的な高まりや深まりをもっていることが見取れる姿

評価の観点	評価規準		Cの生徒をBに高める手立て	
	A	B		
		粘り強く学ぶ		自己調整しながら学ぶ
目標設定	学習の実現の程度について質的な高まりや深まりをもっていることが見取れる姿	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習内容を、他教科の学習や自らのキャリア、生活、自らが生きる社会と関連づけて学習に取り組もうとしている。 単元の学習内容に興味や価値を見出して取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標に沿った、自分なりの学習目標を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の立て方の例を示す。 他の生徒が立てた目標を紹介する。 単元間のつながりや他教科とのつながりを説明する。 学習内容を生徒の関心や生活と関連づけて説明する。 学習内容の実践的価値を示す。
方略計画		<ul style="list-style-type: none"> 自らの学習目標の達成を目指して、よりよい学習方略を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の学習経験を活かしながら、目標達成のための学習方略を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 類似する内容を学んだ時の学習方略を例として示す。
遂行		<ul style="list-style-type: none"> 自らの学習目標の達成を目指して、粘り強く学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画した方略や必要に応じて調整した方略に基づいて、個人やグループでの学習活動に熱心に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習活動について、個人や集団など様々な単位で肯定的な声かけを行う。
振り返り		<ul style="list-style-type: none"> 自らの学習方略の成果と課題をよりの確にとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学習方略をモニタリングし、その成果や課題を挙げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の振り返りに対してフィードバックを行う。 他の生徒の振り返りや方略調整について紹介する。
方略調整		<ul style="list-style-type: none"> 自らの学習目標の達成を目指して、よりよい学習方略を求めて、必要な修正を続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて学習方略を修正している。 	
全体の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習を通して、自らの目標達成のために努力し続けたことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習を通して、自らの目標達成のために工夫したことやその成果と課題を明確にしている。また、それを次の学習に活かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の具体的な学習活動の様子を挙げるとともに、振り返りための視点を具体的に示す。